

キャリア・コンサルティング技能検定 1 級試験 体験記

Y. K

平成 27 年度 第 5 回の 1 級キャリア・コンサルティング技能士検定に 3 度目の挑戦で合格致しました。ご指導をいただきました先生に心より御礼申し上げます。

私の合格までの軌跡です。

1、学科試験

・ (第 3 回試験に 1 回目の受検で合格) は受検半年前から準備
・ 1 級・2 級の過去問を全てやり、よく間違える問題については書籍で根拠等を調べノートに書き出して、全ての過去問が 100 点になるまで繰り返す。
・ キャリア・コンサルティングに関する基本的な関連書籍を 5 冊、半年ほどかけて読む。
・ 厚生労働省のホームページ等から労働経済白書等の最新情報を得て労働市場等ひと通り目を通す。
・ 最新の労働法や雇用政策等の情報に目を通す。
・ 記憶力が必要な理論ワードや人物名等は単語帳を作成。

2、論述試験

・ (第 3 回と第 4 回試験も合格基準到達) は 3 ヶ月前から準備・1 級論述過去問の全てのケースを何度も繰り返し解答記入を繰り返す。
・ 講座を受講して指導レベルの考え方等を学ぶ。

3、面接試験 (3 度目の受検となる第 5 回試験で合格)

・ 合格前に、論述と同じ講座を計 5 回受講。
・ 試験 5 日前に 1 級キャリア・コンサルティング技能士の会の「 本番直前 1 級面接試験対策強化講座 」を受講。 ※私の場合、「実技試験合格」にとってこの講座受講が 決定的なポイント になりました。
・ 2 回目の受検の時に送られてきた結果通知書には、合計点として 60 点を超えていたものの、評価区分のうち「問題把握力」と「具体的展開力」が「所要点未達」とありました。しかし、この時点で私は、「とにかく運が悪かった」としか自己分析出来ませんでした。
3 度目となる今回の試験は、「とにかくロープレの場数を踏まなければ!!!」と焦りが募っていたときに見つけたのが、1 級キャリア・コンサルティング技能士の会が開催している「 本番直前 1 級面接試験対策強化講座 」でした。

- 検定試験は、匠の技ではなく「基本に如何に忠実に展開していけるか」を問うもの
- ケースを通じて事例相談者の問題を把握し、また一般化をして課題に気付かせ、目標設定と合意、具体的な展開方法、そしてクロージングまで時間内に終了していることが大切
- 目の前の事例相談者にとって「愛に満ちた太陽のような指導者」であれ！！
と熱く語られていた木村先生のお言葉を受け衝撃が走りました。
- ロールプレイでは、先生をお相手に事例指導者としてロープレをさせていただく機会を得ました。そのロープレほど、「これだっ!!!」としっくりと感ずることができ、自分の理解が深まった場面はありませんでした。このロープレが出来たこと、**ロープレ中に先生に介入指導**をいただけたことは、一生、忘れることはありません。

- ロールプレイの中で、
 - ・ケースを通じた事例相談者の問題から一般化すべき場面とその重要性
 - ・問題共有の進め方、目指すべき目標の定め方と目標共有方法
 - ・具体的な方策展開方法、指導者が模範を示すべき場面

私の場合、この 3 つのポイントが具現化出来る感覚を得たことがとにかく「目から鱗」でした。指導者として面談をロジカルに展開していくための理屈は十分にわかっていたつもりなのですが、この講座を通じて、具体的に実践出来る手がかりを得られたのです。

●試験当日、とても落ち着いて受検が出来ました。木村先生にご指導いただいた点をしっかり意識して面接展開が出来、特に相手を尊重しながら問題点を一般化すること、そして目標設定と共有化、具体的な展開を行うときの褒め方等、丁寧に進められ、事例相談者の成長に繋がる内容になったと自負しています。

私は、今後も常に初心を忘れずに自己研鑽に邁進して、キャリア・コンサルティングの質の向上に少しでも寄与出来るよう、もっともっと成長出来るよう、努力を惜しまず活動してまいります。

この合格体験記が、これから 1 級キャリアコンサルティング技能検定に挑戦される方々の参考になれば幸いです。

以上